

+ 人間を救うのは人間だ ~Together for humanity~

東日本大震災義援金受付 継続支援実施



東日本大震災が起きてから2年、日本国内外からの多くの支援によって復興への取り組みが行われています。しかし被災地は、今も景観だけでなく人々の生活や心の復興は遥か遠いのが現実です。日本赤十字社では東日本大震災義援金を平成26年3月31日まで延長し受け付ける事となりました。沖縄市赤十字奉仕団も義援金活動を継続していきます。

5月 赤十字フェスティバル開催

5月12日、「世界赤十字デー(5月8日)」を中心に、広く県民に赤十字思想の普及啓発を図り、赤十字事業についてより一層のご理解と身近に赤十字を感じていただく機会として、イオン那覇店前広場にて赤十字フェスティバルを開催しました。赤十字救護班活動の報告や展示、こどもエイサー演舞、バイクレスキュー奉仕団、安全奉仕団による救護シュミレーションなど、多くの方へ普及活動を行いました。



11月 炊き出し合同訓練

11月27日、沖縄市農民研修センターにて炊き出し合同訓練が行われました。赤十字奉仕団他、沖縄市役所職員、沖縄県赤十字有功会(レディース)、沖縄市自治会長会と自主防災組織が参加し、日頃から行政、地域の皆様との連携が最重要であると認識しての訓練でした。ハイゼックス(炊飯袋)を用いた炊飯訓練、止血法等を実習しました。災害救護非常食炊飯を用いたカレーといなり寿司を訓練で炊き出しをし、災害時の非常食としての一方法も学びました。



12月 エコキャップ運動

集めたキャップを、6か月ごと、エコ事業組合さんが回収にきます。12月のエコキャップ受取重量は202kg、換算個数86,860個となりました。このエコキャップは、ポリオワクチン101人分となります。世界の子供たちの命を救うワクチンを届ける事ができるよう、今後ともご協力をお願いします。

活動詳細は <http://rcokinawa.exblog.jp/> にて公開しています

